

もったいないから ありがとうへ



特定非営利活動法人フードバンク京都
〒617-0002
京都府向日市寺戸町山縄手4-2
電話075-201-9291
1fbkyoto@gmail.com
<https://www.foodbankkyoto.com/>
代表 高畠 由美



第6号 2022.4.15

CONTENTS

「自分を乗り越える挑戦」

フードバンク京都代表 高畠 由美

「《つながり》をうみだした フードドライブ」

(福)くわのまつむぎ会 理事長 細見 玲美

「子ども食堂へのおもい」

子ども食堂ゆたか 大野 喬史

「まずは食べて元気になること」

八幡市福祉部生活支援課 畑中 恵里

「いい気分」

スタッフ 田中 雅也

- 新規フードドライブぞくぞく増加中！
- フードドライブ実施中！
- シンカブルで寄付受付中
- 大谷大学『ハッピーアワー』ラジオに出演
- 大谷大学で二名が講演
- SOSの現場から
- アンケート紹介
- 活動実績・提供元様
- フードバンク京都のはじまりとこれから
- 私の見たフードバンク京都の歩み
- 畑だより
- 編集後記

フードバンク京都のSNS



Instagram



facebook

自分を乗り越える挑戦

フードバンク京都代表 高畠 由美

連日報道されるロシアとウクライナの戦争を、固唾をのんで見ている世界中の人々は、この悲惨な出来事を讀めることはないでしょう。

それどころか、二十一世紀の現代に至るまで、戦火の絶えることのなかった人類史上に「なぜ人間は戦争をするのでしょうか?」「どうして争いは絶えないのでしょうか?」と、素朴な疑問をもつ人が多いと思います。

人の命を奪い国を滅ぼす戦争や紛争は、誰の目から見ても良くないこととわかります。では、スーッと個人のレベルに引いて見たとき、私たちは日常生活の中で心を平和に保ち続けているのでしょうか?

確かに概ねは平和なような気がします。が、実は自分を中心とした視点の安穩無事なのかもしれません。

家族はどうですか? 困難の中にいませんか? 友だちは? 職場の人は? 隣の人、ましてや赤の他人となると...もうそんなところまで構ってられない! 自分さえ良ければ、自分の家族さえ良ければそれでいい!! と利己心が優位に立っているときもあるのではないのでしょうか。

しかしこの個人レベルの点が、良いうねりも悪いうねりも作り出すのだと思います。

相手の国のことなどまったく考えられない! 勝手な正義を振りかざすのも人間ならば、災禍のとき不幸に見舞われた人を助けたいと多数寄せられる温情も人間の行いです。相対的なものがなければ利他性が発揮されないのが現状ですが、そういったものがなくても、もっと自然に、もてる者はもたざる者に分けられる心の在り方が、当たり前前の選択となっていかなければなりません。

そのためには、私たちは少しハイレベルに心の状態を保つ努力をしていきませんか。

自分以外のすべての人に愛情をもって寛容に! 決して簡単なことではありませんが、失敗しながらでも継続すること、五年、十年後、必ずそれに相応しい実りを得ることにするでしょう。

それは今の自分を乗り越える挑戦です。やはり「情けは人のためならず」の一言に尽きますね。

《つながり》を生み出したフードドライブ

(福)くわの実つむぎ会 理事長 細見 玲美

保育園を二ヶ園経営している社会福祉法人くわの実つむぎ会です。

数年前から、「社会福祉法人として、何か福祉活動ができないか。」と話し合い、「フードドライブなら、継続してできるのではないか。」とフードバンク京都さんに連携をお願いしました。フードバンク京都さんが、必要な方に届けていただけることで、二〇二一年七月から活動を始めることができました。

現在は、アル・プラザ亀岡さんの店舗に常設し、毎週火曜日に回収しています。始めてから九ヶ月になりますが、毎週コンテナに八割ぐらいの食品が集まります。「タオルなどの生活用品も助かります。」と貼り出すと、シャンプーや洗剤・マスク・石けんなども届けて下さいます。

フードドライブの活動を始めたことで、保育園だけでは関わる事なかった、企業さんにご協力頂くことになりました。亀岡母親大会や障がい者の入所施設から食品の申し出があったり、亀岡市の『物を大切にする』コンセプトのマルシェに毎回出店させてもらいました。先日、亀岡市環境衛生課が「フードロスの視点からフードドライブのことを聞きたい。」と来園されました。

フードドライブという小さな一歩が、様々な人の心を動かし、私たちにもいろいろな《つながり》を生み出してくれる、と嬉しい驚きを感じています。

子ども食堂へのおもい

子ども食堂ゆたか 大野 喬史

子ども食堂ってどんな事をしているの？としばしば聞かれる事があります。場所によって様々ですが、私達が行っている取り組みは学校給食のない日にお弁当を百円で提供しています。これは活動を通して得られる身近さがあると思います。一般的に子どもの貧困は見えにくいとされており、子ども自身も貧困状態である事を表に出せない、また情報を得る事が出来ず、社会的に孤立しがちで必要な支援が得られないなどの背景があります。ニュースなどでそうした子どもの貧困問題などを見聞きして心を痛めている人は沢山いると思います。ただ、その社会的な問題に対して具体的にどういう事が出来るのかと考えるとなかなか難しく、その点、子ども食堂はお腹を空かせた子どもにも温かい食事を提供するというわかりやすさがあります。そしてこのコロナ禍の中、少しでも親の負担を減らす事で、その子どもと向き合える時間がとれ親子の笑顔が増えればなと思います。子ども食堂を続ける為には、ボランティアスタッフ、食材の無償提供などが必要であり、企業、地域住民、自治会をはじめとする多くの支援者の存在によって支えられています。

まずは食べて元気になること

八幡市福祉部生活支援課 畑中 恵里

はじめまして。八幡市福祉部生活支援課の畑中です。私は、生活に困りの方の相談支援を担当しています。

初めて高島代表にお会いしたのは、平成二十八年の七月頃でした。支援内容を知り、事務所へお邪魔したことがきっかけです。その時の高島代表やスタッフの方の熱意や温かさに触れ、興奮して帰路についたことを今でもよく覚えています。

以来、たくさんの方の市民の方に食糧提供をしていただいています。

私たちは日々、病気や障がい、債務、収入、仕事探し、ひきこもりなど多岐にわたる相談を受け、課題解決のためご本人に伴走しています。でも、お腹が減っているのは、課題に立ち向かう力が湧いてきません。家族に提供できる食糧がないと安心できません。

「まずは食べて元気になること。」よく高島代表がおっしゃる言葉通り、そこが課題解決のスタートラインです。食糧をお届けした時の皆さんの表情は「安堵」の一言。食糧を介して、我々相談員との距離も縮まる瞬間です。

今後もしようとしたお力を借りて、一人でも多くの方の笑顔を増やしていきたいと考えています。

いい気分

スタッフ 田中 雅也

フードバンク京都の配達ドライバーを始めて、一年三ヶ月を迎える。コロナ禍で一時は全ての仕事やバイトが消えてしまった。「空いている時間と体と車を利用できる事はないかな？」という軽い動機で始めたのが、きっかけである。

始めてみると、これが大変面白いし楽しいのである。いろんなところへ行ける。いろんな人に会える。そして何より仕事終わりの気分よさが素晴らしい。

この気分よさはどこからくるのか、つらつら考えてみた。それは単純な事だった。自分の意思で、無償で間違いなく人の役に立つ事をしている。そこには悔いも苦しさも存在しない。子どもの時の同じ気分を思い出した。十歳くらいの時、バスの中で大きな荷物を持った腰の曲がったおばあさんを見た。恥ずかしさと葛藤しながら、「座って下さい。」と声に出したら、おばあさんが「ありがとう。本当に助かるね。」とニコッと笑顔を返してくれた。思い切りほんわか暖かい気分になった。あれと全く同じ気分である。

それに、もめ事やトラブルが全くない。自分自らの意思で立ち向かう時はミスが減り、人に優しくなるのか。自らの意思でフードバンク京都に関わる人は、すべて寛容だからか。とにかくどこへ配達しても、どこを回収しても、終始笑顔のまままでいられる。これも気分がいい。

緊急支援の個人のご家庭でも、軽口をたたいて笑い合ってお届けしている。これも気分がいい。

私は多分とても気分がよくなるので、フードバンク京都のドライバーをしているのだと思う。

第一土曜
と翌日曜



KYOTO コープ下鴨 京都市左京区下鴨高木町37
☎075-701-3141



藤原 高之店長

「京都生協の一号店ということもあり、フードロスなどにも関心が高い地域。以前からフードドライブをしてほしいという利用者さんの声が多く、今回実施に至りました。」と、店長の藤原さん。



フードバンク京都の地道な開拓が
実りつつあります！今回は新たに
フードドライブをはじめてくださっ
た5つの施設をご紹介します！



FamilyMart

ファミリーマート
今里二丁目店

京都府長岡京市今里2丁目10-13 ☎075-958-3755



FamilyMart

ファミリーマート
桂西滝川町店

京都市西京区桂西滝川町19 ☎075-382-0520



常設



FamilyMart

ファミリーマート
長岡京野添店

京都府長岡京市野添1丁目19-13 ☎075-959-1135



FamilyMart

ファミリーマート
向日南淀井店

京都府向日市上植野町南淀井101 ☎075-924-3258



フードドライブ実施中！

期間中は施設内に専用のボックスを設置しています。是非ご家庭にある食品をお持ちよりください♪集められた食品はフードバンク京都に寄付されます。実施する店舗及び施設は下記をご覧ください。

- グルメシティ上桂店(第3月曜～日曜)
- グルメシティ北山店(第3月曜～日曜)
- グルメシティ嵯峨店(第3月曜～日曜)
- グルメシティ西大路店(第3月曜～日曜)
- ダイエー瀬田店(第3月曜～日曜)
- ダイエー桂南店(第3月曜～日曜)
- イオンフードスタイル東向日店(第3月曜～日曜)
- イオンフードスタイル山科柳辻店(第3月曜～日曜)
- KOHYO京都店(第3月曜～日曜)
- KOHYO北大路店(第3月曜～日曜)
- KOHYO上七軒店(第3月曜～日曜)
- マックスバリュ藤森店(第3月曜～日曜)
- アル・プラザ亀岡(常設)
- コープらくさい(第1土曜～日曜)
- コープ下鴨(第1土曜～日曜)
- くわの実保育園(常設)
- ファミリーマート桂西滝川町店(常設)
- ファミリーマート向日南淀井店(常設)
- ファミリーマート長岡京野添店(常設)
- ファミリーマート今里二丁目店(常設)

対象となる食料品



未開封であること

賞味期限まで1ヶ月以上あること

常温保存が可能であること

製造者または販売者が表示されていること

成分表示またはアレルギー表示があること

※アルコール類・手作り品は上記条件に当てはまるものであっても対象外になります

ご寄付の仕方が選べるようになりました

フードバンク京都は完全ボランティア団体です。皆さまから寄せられたご寄付が活動の資金となります。どうか皆さまのお力添えよろしくお願い致します。

●シンカブルのサイトからクレジットカードでご寄付

- 1) 賛助会員(毎月自動的に寄付) 一口1,000円
- 2) 一回のみのご寄付



Syncable

<https://syncable.biz/associate/fbkvoto/donate/>

シンカブルで検索も出来ます。
シンカブルで検索→シンカブルのサイトを見つける→「団体を探す」→フードバンク京都で検索→「寄付する」を選んでください



●ゆうちょ銀行からご寄付

- 1) ゆうちょ銀行 記号：14450 番号：43891781 トク)フードバンク外

※ゆうちょ銀行以外の銀行から振り込まれる場合は下記口座をご指定ください。

【店名】四四八 【店番】448 【預金種目】普通預金 【口座番号】4389178

大谷大学『ハッピーアワー』ラジオに出演



二〇二一年九月一六日、京都の大谷大学のラジオ『ハッピーアワー』に、京都フードバンクが出演しました。出演したのは、北区でお仕事や地域活動に取り組み方から、地域の魅力や、取り組みへの想いをうかがうというコーナー『ハッピートーク』。北区でフードドライブをしてくださっているスーパーマーケットを『KOHYO』さんからお話をいただき、そのご縁でフードバンク京都も活動内容や現況などを話させていただきました。

当日は、スタジオにいる大谷大学の赤澤先生、学生、KOHYOの店長の天野さんと一緒に会話形式でスタート。フードドライブをしてくださることになった契機やこのコロナ禍で支援を必要とされる方と同様に、支援して下さる方も増えていることなど、スーパーマーケットというまさに地域の人々の暮らしに密着した現場から見えてくるリアルな今を聞くことができる収録となりました。

大谷大学で二名が講演

前記のラジオ出演がきっかけで、二〇二一年十一月十六日には、大谷大学の赤澤先生のゼミ『非営利組織マネジメント論』の講義で講演させていただきました。



このゼミでは学外の地域社会へも積極的に足を運び、様々な人や出来事との出会いを通じて、地域が抱える課題を発見する力や実践的な課題解決能力を身に付ける、という主目的のもと、赤澤先生からは事前に、私たちフードバンク京都が行う活動内容と共に、ボランティア団体だからこそ抱える課題やフードバンク京都ならではのユニークな点を話してほしいという依頼がありました。

当日講演を担当するスタッフが課題として挙げたのは、スタッフの多くが仕事をしており、一人一人が空いた隙間時間に作業するため使える時間が少なく、仕事、家事、ボランティアのバランスが難しいと感じる点だと話しました。また同じく講演を担当した配達ドライバーのスタッフは、ボランティアをすることになった経緯や実際に手渡しする時に感じる思いややりがいなどを話し、講演は無事に終了。後日学生からの感想文が送られてきましたので、その一部を抜粋しご紹介します。

【フードバンク京都では畑を持っているというイメージが無かったので驚きました。でもそれが特徴でボランティアに参加する人もいるというのが、ボランティアする側も増えて、支援物も増えるのですごく良いなと思いました。】【最近はやングケアラーの話聞くことが多くなってきた、私よりも小さい子どもが家事を行っていると知って、もっと自分ができる支援があるのではないかと思ったし、自分もフードロスを無くせるよう行動したい。】【たった四名で初めて現在は四〇名と聞いた時は、それほどフードバンクの活動が評価されているんだと思ったし、講義を聞いて実際に助かっている人が沢山いることが分かりました。】【学生の自分たちだからこそSNSで発信しフードドライブの活動を広め、食べることに困っている人がもっと減って欲しいと思う】

SOSの 現場 から

藤原 純子

フードバンク京都理事

アソートの他にもフードバンク京都の講演や出張授業などを担当

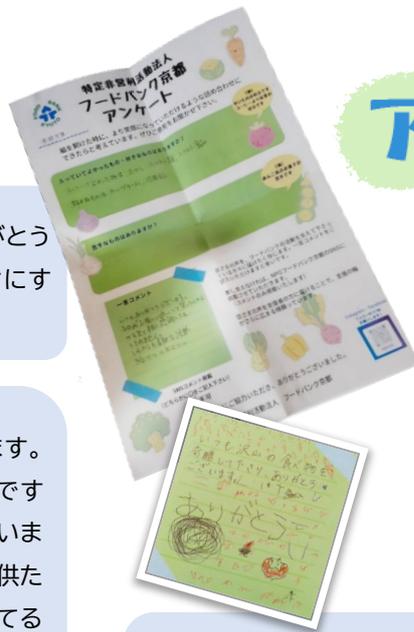
緊急支援の一報が入ると、その方に応じた食品の詰め合わせを段取りする”アソートチーム”の一員をしています。このチームは、2021年5月末に結成されました。それまでは、理事長が仕事が終わってから、夜遅く用意をしている状況でした。

発足当初は、私を含め2名のメンバーでした。どんな食品をどれくらい入れたらいいのか手探り状態でした。皆さまから頂いた食品、お野菜などを無駄にしないためにも期限内に注意しながら段取りを考え、必要とされる方の状況(自炊可能か、ガスは止まってないかなど)を考慮しながら食品を用意します。

お届けする方々を拝見していると、社会状況を顕著に表していると痛感します。コロナ禍で仕事を失った方、心身の病気の方、色んな状況で金銭管理ができない方、虐待から逃れてきた10代の方、小学低学年なのに一切の家事を担っている子ども…。それぞれ色んな事情を抱えて生きている。昨年度に比べ、さらに増加していると日々痛感します。

フードバンクにつながる方以外にも、相談するにまでたどり着けていない多くの人々がいると思います。大変な思いをされている方が、少しでも食べることによって、元気になるようにメンバー一人一人が愛をこめて、用意しています。これからも初心を忘れないように、皆さまからいただいた食品をお届けしていきたいと思っています。

フードバンクにつながる方以外にも、相談するにまでたどり着けていない多くの人々がいると思います。大変な思いをされている方が、少しでも食べることによって、元気になるようにメンバー一人一人が愛をこめて、用意しています。これからも初心を忘れないように、皆さまからいただいた食品をお届けしていきたいと思っています。



アンケート

いつも美味しい野菜や食料をたくさんありがとうございます。しんどい時、皆さんのあたたかさにごく救われました。

いつもお米やお野菜等ありがとうございます。食べ盛りの三人の子ども達を育てている母ですが、いただいた食材、大切にに使わせてもらっています。毎日本当にありがたいなあと感じつつ、子供たちにはいつか困っている人達に思いやりの持てる大人になってもらいたいのので、フードバンクさんのしてくださったことを伝えていこうと思います。

みなさんからいただいたもので子どもたちはすくすく成長できています。生きるためのエネルギーを、前を向いて生きようという気持ちを、いつも支えてくださり感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございます。

いつも美味しい食品をありがとうございます。我が家は食べ盛りの息子と母です。いただいた食品は残さず完食！本当にありがたいです。フードバンク京都さんからの食品は我が家にとってはなくてはならないあたたかい心がつまっている宝物です。

皆様から寄せられた食品は、支援が必要な方々や様々な福祉施設などにお届けしています。

ここでは支援物資を受け取られた方の感想から、その一部をご紹介します。

主食となるお米やパンを頂けて助かっています。パンは子どもも大好きでいつも色々な種類があって喜んでいます。卵や枝豆、お野菜等も美味しくて、経済的負担も減り、いつも有難いと思っています。ありがとうございます。今後も宜しく願いいたします。

いつもありがとうございます。子どもがお腹いっぱいって笑ってくれるのを見て感謝してもしきれません。これからも素敵な活動、続けてください。

フードバンクさんから支援いただき本当に感謝しています。今こうして生活できているのも誰かの支えがあってこそと実感していて、支援のありがたさをとても感じています。フードバンクさんを通じて食のありがたさ、フードロスへの取り組みも関心を持つようになりました。

活動実績 (2021年7月~2022年3月)

(1)施設などへの定期的な支援活動	
① 母子生活支援施設	3カ所/127回 /5,652kg
② 児童養護施設・更生保護施設など	3カ所/94回 /2,285kg
③ 子ども食堂	6カ所/81回 /2,722kg
(2)支援活動団体への支援活動	
支援団体	6カ所/48回 /4,011kg

(3)個人への緊急支援	
緊急支援	316回 /6,954kg
(1)~(3)支援活動の合計	666回 /21,624kg
(4)フードドライブ	
小売店(企業数5/店舗数19)	3,381kg
(5)農園による生産活動	
玉ねぎ、じゃがいも、茄子、ネギ、にんじん、トマトその他、季節野菜等	

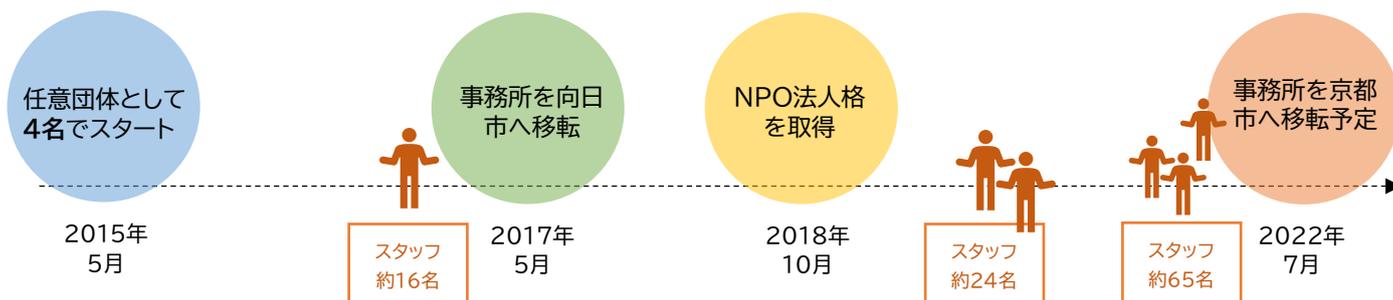
ご提供いただいた皆さま (2021年4月~2022年3月) 順不同

- ジャトコ株式会社
- 株式会社 小原工業所
- 株式会社 テモテ
- アステラス製薬株式会社
- 同志社大学附属 同志社国際学院初等部
- 川口酒造株式会社
- パナソニックインダストリー株式会社 デバイスソリューション事業部
- 初音学区自主防災会
- 西楽寺
- 平安女学院中学校・高等学校
- 農業生産法人 株式会社ブルーレモンファーム
- ローム株式会社
- ジブラルタ生命保険株式会社
- カトリック衣笠教会
- 株式会社 松尾商店
- 積水ハウス株式会社 大阪北シャーマゾン支店
- 亀岡市社会福祉協議会
- 来迎寺
- 日本バーリンガーインゲルハイム株式会社 京滋北陸支店
- 公益財団法人 京都市学校給食協会
- アミタホールディングス株式会社
- 京都紫明ライオンズクラブ
- 京都パレスライオンズクラブ
- 京都葵ライオンズクラブ
- 京都薫風ライオンズクラブ
- 京都ロイヤルライオンズクラブ
- 社会保険診療報酬支払基金京都支部
- 神人ネットワーク会
- 社会福祉法人 くわの実つむぎ会
- 株式会社平和堂
- 株式会社ダイエー
- 株式会社光洋
- 株式会社ファミリーマート
- 京都生活協同組合
- コストコホールセールジャパン株式会社 京都八幡倉庫
- 中村暮らしを見直す会
- コープ自然派京都
- 矢野食品株式会社
- Yohei Miyaguchi
- 国際ソロプチミスト京都
- コプロ株式会社
- 京都インターナショナルスクール
- 京都府庁
- JA京都市 営農経済部
- ヴィレッジトラストつくだ農園
- 株式会社坂の途中
- 近畿生乳販売農業協同組合連合会
- 特定非営利活動法人スモールファーマーズ
- 箕面子どもの森学園
- 京都外国語大学 国際貢献学部
- 株式会社オクバイント
- 杉本米穀店
- 芦田農園
- 石田ファーム
- 明石農園
- 晴鴨楼
- 株式会社麦の穂
- 亀岡母親連絡会

※その他、多くの個人さまからもご提供いただいておりますが、個人情報保護のため伏せさせていただきます。

～ フードバンク京都のはじまりとこれから～

2015年に発足し、2022年で7年目を迎えるフードバンク京都。たくさんの方にご協力いただき、規模も少しずつ大きくなってきました。ここではこれまでのフードバンク京都の歩みと現在の状況をお伝えします。



私が見たフードバンク京都の歩み

河本 恭子

私の携帯のカレンダーを見返すと、京都駅近くにあったフードバンク京都の以前の事務所を、私が初めて訪れたのは2016年10月9日だったようだ。きっかけとしては、以前からフードバンクという仕組みに興味があったこと、息子たちが大学生になって家を離れて時間ができたこと。その日は面談だったが、現理事長の由美さん、前事務局長の京子さんといろんな話をした。初の活動は、カレンダーが間違っていないければ12月25日の配送。配送ドライバーの石川(トニー)さんの側乗だった(以前は二人一組で配送していた)。事務所で待ち合わせてコストコへ、大量のパンをいただいて畑へ、そして、確か野菊荘さんへお届けしたのではないかなと思う。ドライブ中にトニーさんといろんな話をしたのも懐かしい。翌2017年1月には、初のお米の小分けに参加。1ヶ月に一度程度の活動だった。そして、ホームページに記載されている初のスタッフミーティングが3月。この時に赤岡さん、守岡さんとお会いしていたのではないかなと思う。

その後、事務所は向日市に移転、京都市の助成制度を利用してお米の保管庫を購入した。当時、引っ越し、助成手続きだけでなく、緊急支援の手配、配送、それにホームページ、広報、お礼状など、ほとんどを由美さんと京子さん、森川さんにおんぶに抱っここのフードバンク京都であった。そのころのフードドライブは単発のイベント的なものだけで、食品の寄贈を増やすことが課題だった。そこで、企業からの寄贈を増やすためにも、信頼度の高いNPO法人格を取得することとなった。「言い出した人が活動する」方針から、守岡さん、森本さんが手続きを進めてくださった。今では、フードドライブを定期的に行ってくださる店舗も増え、向日市の事務所が手狭になるほどとなっている。

コロナ禍で活動が急拡大した2021年度は運営面で大きな転換を迎えた。増大した活動量を手分けするため、お届けのための食品準備は藤原さんを始めとするアソートチームに、仕分けは田代さんを始めとする皆さんに、そして広報は加藤さん、ホームページは山崎さん、お礼状は戸田さんなど、担当を決めての活動がはじまった。情報を少しでも整理できればとLINEワークスも導入した。引き取り、お届けの数も増えたが、配送スタッフも少しずつ増え、なんとか活動が成り立っているのは皆さんのご尽力のおかげというしかない。しかし、事務所の狭さだけは人の力ではなんとでもできない状況であり、私は今、広い新事務所兼倉庫のために奔走している。



▲フードバンク京都専用の畑を借りることができた2016年



▲2018年スタッフミーティングの様子。NPO法人格取得を目指すことに!



▲イベントに積極的に参加し、フードドライブを実施していた2018年



▲2019年向日市事務所での仕分けの様子

3月フードバンク京都農園の様子

今はこんなお野菜を育てています！



フードバンク京都にはボランティアスタッフが無農薬でお野菜を育てている農園があります。このコーナーでは、今育てているお野菜やスタッフをご紹介します。



「私と畑と仲間」

私がフードバンク京都に入ったのは、もう三年前になります。六十五歳で仕事を辞めるときには、高松に住んでいましたが、その時カーラジオから流れるフードバンク香川の紹介を聞きました。仕事を辞めたらこんなことしてみたいなあ、と思いましたが、二年間はゆっくりしていました。その後、ネットで検索したフードバンク京都に連絡して、事務所に行きましたが、家族から

畑メンバーをご紹介します



人見 十郎

車に乗らない仕事をしてほしいと言われていたので、畑で仕事することに。この頃の畑には理事長・畑主任・京子ちゃん・野木さん・兵藤さんの他、たまに若い方が来られていました。

私の家は亀岡ですが、農家ではないので、畑仕事は不得意です。見様見真似で、教えてもらいながら、暑いときも寒い日も、なるだけ欠席しないようにしていました。

イノシシに掘り返されたり、雨が少ないときには水を撒きに来たりしたこともありましたが。台風が近づいているときには、近くの茄子農家の茄子を収穫して、全部いただいたこともありましたが。暑い日は、終わったときには完全にグロッキーになり、体重が減ってくれました。

ここで採れた野菜は、野菜独特の香りや味が濃くて、野菜から出汁が出てくるようです。野菜本来の味が、野菜嫌いの子供達にも好まれているそうです。

畑に来られる若い人の数が、この一年間は特に多くなったみたいです。小林さんや田中さんのような、私が追いつけない年齢の方も来られるようにもなりました。いろんな経験を積み重ねた仲間が増えると、仕事中の会話も楽しくなるし、皆の特技で仕事が活発になります。栽培している野菜の種類も増えたように思います。

これからも若い人達との会話を楽しむためにも、身体がつづくあいだは、迷惑をかけながらも、なるべく月曜日は畑に出かけて行くつもりです。

編集後記

広報を担当するようになって二年。三回目の紙面が今回の第六号です。ボランティアスタッフの個々の時間を使って、想像力と体力と気力を駆使し、困っている方が少しでも良い状況につながるようにと働くその環境に自分も身を置かせてもらっている今、ああ私はここからパワーをもらっているのだなと改めて感じます。

配送や畑などで動くことができない私が出来ることは、少しでも多くの人に読まれる広報誌をつくり、フードバンク京都が外部と接触し活動を広げる際に役立てることが出来るように、そしてそれが巡り巡って、いつか困っている方への支援につながる信じて、この広報誌づくりを続けていくことだと思っています。

今号も、もらったパワーを紙面に込めて届けます。これからもフードバンク京都をよろしくお祈りします。(加藤 小真子)

